

さいたま市障害者社会参加推進センターだより



ぱらネット

第44号

令和5年度 さいたま市

障害者週間 市民のつどい

～みんなちがってみんないい～
コロナを超えて、“完全”通常開催!!

令和5年12月10日(日) 10:00～15:00
プラザノース、市民広場、きたまちしましま公園



基調講演

「生きながら生まれ変わる」

米良 美一さん

(カウンター・テナー歌手)



米良さん、清水市長と

あいさつ

市民のつどい実行委員長

中野 勇



中野会長 (実行委員長)

さいたま市「障害者週間」市民のつどいを十二月十日(日)に、昨年に引き続き北区にあるプラザノースにて開催しました。今回は、コロナを超えてのです。会場が広く拡散してしまったという昨年の反省を踏まえ、エリアを少しコンパクトにし、プラザノース(多目的ルーム、ギャラリー、市民広場)と隣接する「きたまちしましま公園」の一部で行いました。

市民広場では、式典、さいたま市消防音楽隊による演奏、ふれあいステージ(各団体の歌やダンス)などの催し物に加え、

福祉施設・事業所の販売や展示、販売飲食物のイートインコーナー。2階ギャラリーでは各団体の展示や出張事業、作品展、パラスポーツ体験が終日開催されました。また、2階の多目的ルームでは基調講演が行われました。

今年度の基調講演は、「生きながら生まれ変わる」をかかげ活躍する、カウンターテナー歌手の米良美一さんでした。まずはヒット曲の「もののけ姫」の主題歌を含め数曲の歌をご披露いただきました。講演では米良さんの難病と闘う当事者としての生い立ちや生き様について語られ、現在も体調を調整しながら歌を通して、また、講演活動も行いながら、全国で活動を展開されてるとのこと。米良さんの優しい人柄と強い意志を感じることができました。

当日は一日穏やかな天気にも恵まれ、昨年を大幅に上回る入場者があり、各会場はたくさんの方々の活気にあふれ、サブテーマの「みんなちがってみんないい」を様々な方々に伝えること

ができたと思います。

この市民のつどいは障害者週間の一つのイベントとして行っています。コロナ禍においては一定の制約のもとでしたが、今年度はほぼ制約なしの「通常開催」です。私たちは、さいたま市にノーマライゼーション条例のあることに誇りを持ちながら、誰もが住みよい街づくり、障害者の社会参加の促進をこのさいたま市から発信したいと思っています。このイベントを通して市民の方々に障害に対しての理解を深め、インクルージョンを追求していけたらと考えております。

参加されたたくさんの方々、実行委員会を始め各団体、障害関係施設・事業所のみならず、ありがとうございました。来年も充実したつどいとなりますよう、お願い申し上げます。



ノーマークン
ノーマライゼーション条例
PRキャラクター



つなが電
又
さいたま市 PR キャラクター

障害者週間とは…?

毎年12月3日から12月9日までの期間は障害者週間です。障害者週間は、障害者基本法によって定められています。国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進することを目的としています。

各会場のレポート

「市民のつどい」

ふれあいステージ

今年度の「市民のつどい」は好天に恵まれ、家族で参加する姿が多く見られました。

市民広場ではさいたま市消防音楽隊の演奏でオープニングセレモニーを盛り上げていただきました。

同じ場所にてご本人や支援者が登場して此の日に向けて準備した作品やダンスを披露する、「ふれあいステージ」を開催しました。

会場からはステージが上がっ



オープニングあいさつ 清水市長

た障害のあるご本人達に大きな拍手と歓声上がる場面が度々ありました。登壇したご本人達から手を振って答える楽しい時間が続きました。

ダンスや作業で作った作品を着てのファッションショーや楽器の演奏発表が広場に流れ「市民のつどい」に参加した方々が足を止めて楽しむ場面がありました。

企画運営にはボランティアさんと市の職員が多数参加をいただきました。参加いただいた方々やボランティアの皆さんと市職員方々の協力に感謝申し上げます。

次回の開催時にも「みんなち



全国障害者スポーツ大会
さいたま市選手団 報告式・解団式

がってみんないい」の思いを込めて誰もが楽しく参加できるイベントになる様に取り組みたいと思いました。

【さいたま市手をつなぐ育成会

黒澤 篤子



ステージ



さいたま市消防音楽隊



かがやき神戸ぐりいと「土曜日の天使達」

A プラザノース 2階 多目的ルーム

- 基調講演 米良 美一 氏

B プラザノース前市民広場 仮設ステージ

- オープニングさいたま市消防音楽隊による演奏
- 式典
 - ・心の輪を広げる体験作文
 - ・障害者週間のポスター表彰式
 - ・全国障害者スポーツ大会結果報告会、解団式
- 屋外ふれあいステージ
 - ・土曜日の天使達
 - ・ダンスフォーラム BF クラス
 - ・社会福祉法人ハッピーネットゆめの園
みらいず大宮
児童発達支援・放課後等デイサービス
 - ・NPO 法人織の音アート福祉協会
 - ・特定非営利活動法人 ゆうの樹
 - ・株式会社キュアラボ スマイルリズム



神戸から駆け付けてくれた「土曜日の天使達」



ブラインドサッカー体験



体を動かすムーブメント



キッズコーナー



卓球バレー体験

C 屋内イベント

- 【交流スタジオ】・卓球バレー体験 <卓球バレー協会>
- 【ギャラリー8】・ボッチャ体験 <あいおいニッセイ同和損保>
- ・誰でも楽しめるダンス <手をつなぐ育成会>

D 屋外イベント

- ・手話応援に関する展示・キックターゲット <大宮アルディージャ>
- ・ブラインドサッカー体験
- ・モルック体験 <ロービジョン ラボ>
- ・フライングディスク体験
- ・デフリンピック応援ブース
- ・キッズコーナー <さいたま市児童センター>



さいたま市消防音楽隊



展示コーナー



カフェ

E 展示・紹介コーナー【ギャラリー1～7】

消防・防災 <さいたま市防災アドバイザー>

- ・防災に関する情報提供
- ・緊急時安心キット、子ども用消防服体験

会の活動や障害特性の解説と体験 <さいたま市手をつなぐ育成会>

- ・誰でも楽しめるダンス

手話教室・体験 <さいたま市聴覚障害者協会>
高次脳機能障害ピアサポート活動等

<高次脳機能障害さいたまこれからの道>

ヘルプマーク・盲導犬の普及等 <ロービジョンラボ>

精神障害・展示相談コーナー等 <精神障害者家族会連絡会>

ワークショップ・バザー

<さいたま市障害難病団体協議会 地域活動支援センターかものみや>
点字・ゲーム・無料マッサージ体験、華道展示

<さいたま市視覚障害者福祉協会>

活動報告等の展示

<さいたま市身体障害者福祉協会>

<埼玉県自閉症協会さいたま市地区>

消費生活

- ・消費生活に関する情報の提供と啓発品の配布

<さいたま市消費生活総合センター>

ピアショップ（販売） <あかしの森>

障害・難病者制作 作品展 絵画、写真、書、工芸、手芸などの
作品展 <市内障害者関連団体、施設、事業所>

F きたまちしましま公園

音楽に合わせて体を動かすムーブメント

<NPO 法人ビーポップ>

キッチンカー <グリーンフィンガーズ>

カフェ <ちひろコーヒー>



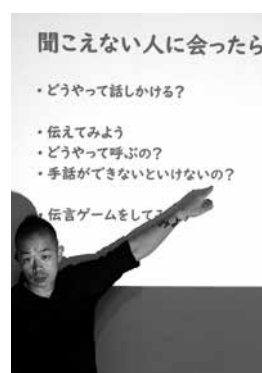
展示コーナー



販売コーナー



展示コーナー



手話教室



販売コーナー



販売コーナー

基調講演

「生きながら生まれ変わる。」

カウンター・テナー歌手

米良 美一 氏

令和五年十二月十日。さいたま市市民のつどいの基調講演は、カウンター・テナー歌手の米良美一氏をお招きして開催されました。

ジブリアニメ「もののけ姫」の主題歌を歌って一世を風靡した米良氏は、先天性骨形不全という三万人に一人の難病と闘いながらも、クラシック歌手として、世界的活躍を続けていらっしやいます。



会場の聴講者に、楽しんでリラックスできる講演にしたいと、歌の合間に、ご自身の体験を、まごころと感謝を込めて語って下さいました。

聴講者の人生が、よりよく、明るい方向に進む為の、きっかけになる講演にしたいと、決意表明から始まりました。人が生きることを立ち止まり、それぞれの立場で考える局面を迎える時がある。苦悩の米良氏は、医学療法士で、スピリチュアルカウンセラーの先生との出会いが、生きながら生まれ変わるきっかけになった体験を、ご披露くださいました。

音楽は、人種も国境もない。米良氏は障害を看板にせず、障害のある自分、エゴイストになりやすい自分、それは自身の「魂のクセ」と命名し、常に笑顔で心掛けて生活していらっしやいます。

それぞれの立場で考え、見聞をひろめてほしい。皆様の人生が、綺麗な道で続くように自分の生まれに誇りを持つてと、私たちは米良氏から、魂のエールを受け取りました。

「ヨイトマケの唄」に会場が、割れんばかりの拍手と感涙でいっぱいになったフィナーレで、年末の講演会の幕が下りました。

(障害難病団体協議会・中野)

右足靭帯損傷のハンデを抱えながら、全身を使い表現された

基調講演

「生きながら生まれ変わる」

講師 カウンター・テナー歌手 米良 美一 氏

令和5年度「障害者週間」市民のつどい
～みんなちがってみんないい～



基調講演 「生きながら生まれ変わる」 講師 カウンター・テナー歌手 米良 美一 氏



実行委員からの意見・感想

- ・遠くで聞こえてきた消防署さんの音楽隊の曲に癒されました。まさか、市長さんから二階のブースまでご挨拶にきていただけただけ、なんて大変うれしく感動しました。
- ・今年も晴天に恵まれて、前回よりも気温が高くてよかったと思います。また、案内所が何処にあるのか分かりにくいことは去年よりも会場が縮小されて密になったため、やはりゲートなり目印が必要と思います。イベントとしては、うまくいった方だと思います。
- ・障害の有無にかかわらず様々な方が来場されましたが、外のブースに来客が集中していた様に思います。次回屋内の会場への誘導が課題です。
- ・昨年にくらべてまとまっていたよかったです。
- ・天気にも恵まれ、人出も多くて大成功だったと思います。芝生でのステージと販売はとも良かった。二階への人出も多かった。消防、防災コーナーや作品展、パンの販売、スタンプリー効果でしょうか。
- ・今年度はお天気に恵まれ野外ステージも満席でした。事前のボランティア説明会も事前学習と共に障害者理解の啓発につながったと思われます。
- ・基調講演ですが、チラシが届いた時にはすでに締切が過ぎていた等の苦情がありました。案内は早めに。当日、券が余っていて、席を埋めるのに大変でした。
- ・今回天気も良い、多くの人と出会って、利用者の視野を広げた。
- ・昨年は二階にほとんど人が流れてきませんでした。今回はにぎやかで良かったと思います。会場が外と二階にまよって迷わなくてよかったです。各団体のサインが通路で分かるように掲

- ・今回は昨年と違い二階にもたくさんの方が来てくれて良かったと思います。会場も少し縮小してごちんまりとしていてまとまりがあつて良かったです。消防体験のブースを担当しましたが、思っていたよりも子どもたちが来てくれました。中には、消防服やヘルメットが重く嫌がるお子さんもいましたが、チラシ配り



- ・示していたのが良いと思いましたが。本部が二階のギャラリーにあったので人の流れができたと思う。ヌウ君には鈴とか声を出しながら歩いて欲しいと思いました。



- ・米良美一氏の講演を聞いた会員さんは、すごく感激したと話していました。
- ・プラザノースのギャラリー、市民広場をメインの会場にしたので、多くの人々が来ていただいた事は有意義な時間でした。私たちにとってやりがいのある仕事だったと思います。来年も同じ会場でしたら今回のようにして欲しいと思います。

リレートーク

市民のつどいにて実行委員として参加して

さいたま市精神障害者家族会

金木 愛子

十二月十日(日)に「障害者週間市民のつどい」が、市内北区の市民広場と、区役所二階のプラザノースにて行われました。

広場に赤いカーペットとステージが設営され、消防音楽隊の演奏、式典、福祉施設の歌やダンスなどが行われました。また、大宮アルディージャのキックターゲット、フライングディスクなど沢山の企画に、多くの人が出がありました。

福祉施設の十の模擬店と飲食スペースもあり、私は温かい「ひつみつみ汁」をいただきました。

今年は、室内のプラザノースへも多くの方が来場されました。

基調講演は米良美一氏の「生きながら生まれ変わる」でした。

(映画もののけ姫の主題歌を歌唱) 定員百八十名、精神家族会から

5名が参加しました。

二階のノースギャラリーは、各障害者団体のブースでした。今年には消防・防災コーナー、作業所の作品展、パンの販売、スタンプラリーもあり、来場者が多かったです。

さて、私が所属する「精神障害者家族会連絡会」は、「統合失調症などの精神疾患を持つ人の家族」の集まりです。会員数は約220名。市内の5つの家族会で構成しています。

当日は、①活動内容の紹介の掲示 ②相談会 ③作業所の作品展と品物の販売を行いました。

みなわ会は、「ふれあい工房みなわ」の共同制作の絵、個人の絵や陶芸を出品しました。

もくせい家族会は、毎週学び合い・語り合いの場を設け、活発に活動しています。

おやじの会は、やどかりの里

運営の喫茶店にて、月に一度の父親の対話を大切にしています。いちご会は、作業所で製作のチーズケーキ、浜砂会は50周年記念誌・干し芋などの販売を行いました。

家族会には、同じ体験をして来た者のパワーとヒントが沢山あります。

あなたもお仲間になりませんか？



市民のつどい実行委員

します。

この記事を書いている間は多忙のためへろへろでした。しかし、市民のつどいの写真や文章などをパソコンに貼り付けているうちに楽しくなってハイになってきました。まだまだ技術不足で満足なものには程遠いかも知れませんが、善処していきたいです。世の中は暗いニュースばかりです。それでも、我がさいたま市障害者協議会は希望を求めて頑張っていこうと思います。この冊子がお手元に届く頃には桜も咲いていることでしょう。花より団子！季節は廻ります。どうぞ、ご自愛ください。(竹内)

編集後記

ぷらネット四十四号をお届け

発行 さいたま市障害者

社会参加推進センター

〒330-0801

さいたま市大宮区土手町

一三三三-一

大宮ふれあい福祉センター4F

TEL 〇四八・六五三・七二七一

FAX 〇四八・六五三・七三三一

http://www.saitama-planet.com/

e-mail: saitamacity-handynet@

bz03.plala.or.jp

発行・編集人 中野 勇